

(様式)

愛知県子ども会活動事例応募用紙

市町村名	安城市	子ども会名	西町子ども会
活動名	<input checked="" type="checkbox"/> 地域との交流 <input type="checkbox"/> スポーツ活動 <input type="checkbox"/> 仲間づくり・技術習得 <input checked="" type="checkbox"/> 遊び体験 <input type="checkbox"/> 自然体験 <input checked="" type="checkbox"/> 異年齢交流 (事業名: ふれあい交流会)		
活動の内容	地域の老人会との交流会を年に1回企画している。 内容は子ども会役員が考える。 今年は保護者に依頼し、「絵本でクイズ」「自己紹介ゲーム」「じゃんけんゲーム」を企画した。 「自己紹介ゲーム」は用紙に3*3の9つのマスを書き、相手の名前を覚えてもらったらマスを埋めることができる。ルールの説明をすると「こういう場合はどうすればいいの?」「こうした方がいいんじゃない?」など子供から積極的に質問があり、より面白いルールを取り入れたゲーム内容となった。		
日時	2019年6月2日(日) 9:00~11:30	場所	西町公民館
予算	5000円	参加人数	子ども 25名 大人 28名
実施してよかったこと、楽しいと感じたこと、また、困った点等をどのように工夫したか等	高齢者と同居していない子供も増えており、このように異世代と触れ合う機会は貴重である。 子供たちも子ども会内での異年齢交流もでき、かつ自分の家族以外からアドバイスを受けたり、指示を受けたりして経験値が上がる。 地域の保護者にレクが上手な方がおり、非常に助けられた。また、子供の意見を柔軟に取り入れたレクレーション内容となり、「いいアイディアは即採用」され、子供側からも「こうした方がよい」など活発な意見交換ができた。 役員側の事情としても、新役員体制になってから自分たちが企画する最初のイベントで、「どういうイベントなら年齢、性別、能力問わず楽しめるか」「どこに注意すべきか」「危険はないか」など考えることができ、かつ比較的難易度の低いイベントである。		
子どもたちの成長ぶりや心の変化や(感想)等	異年齢の子どもとのふれあいで、思いやりや節度を学ぶ。 また、高齢者は意外と頑固であったり、子供同士と同じようなコミュニケーションの方法ではうまく指示が入らないことを身をもって実感できる。 教室よりもフレンドリーな雰囲気です活発な意見交換ができる。		
HP掲載承諾	<input checked="" type="checkbox"/> 済 (✓点の記載必須)	HP掲載承諾	<input checked="" type="checkbox"/> 済 (✓点の記載必須)
			